



平成27年度 長岡国道事務所 除雪功労者表彰式 を執り行いました。

6月10日(金)、永年にわたり管内の除雪作業に従事された除雪機械のオペレータ5名の方々に對し、その功績を讃え、川岸事務所長より表彰状を贈呈しました。

除雪功労者表彰は、平成4年度に創設され、今年で24年目を迎え、これまでの表彰者は172名を数えます。

表彰者は永年除雪作業に従事されている方々の中でも、特に優秀な技術を持ち、責任感旺盛、さらに後継者の指導に意欲的であるなど、除雪作業に大きく貢献された方を選定しています。

このような方々の昼夜を問わない献身的な除雪作業により、冬期間の円滑な道路交通が確保されています。



表彰者の方々と記念撮影



表彰状を贈呈する川岸事務所長(写真左)

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 調査課

TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-33-7566



国土交通省北陸地方整備局

ふるさとのぬくもり伝える道づくり

長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4-430-1

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>

ちよーこく 検索

携帯版



スマホ版



長岡技科大生 橋梁補修現場を見学

6月22日(水)、長岡技術科学大学の4年生15名、大学院生9名の計24名を長岡市内の橋梁補修工事の現場に招き見学会を行いました。

同大学は、北陸地方整備局と平成23年に「連携・協力に関する協定書」を締結しており、これまでもいろいろな形で交流を図っており、このような見学会の実施は、昨年度に引き続き2回目となります。

今回の見学会は、「橋梁の損傷状況やその対策方法について学びたい」との同大学からの要望を受け、国道8号長岡高架橋補修工事で橋梁の損傷状況及び点検の実施方法を説明し、国道8号池之島高架橋補修補強工事では、足場上がりコンクリートの打設前の状況を見学しました。

参加された学生へは、道路インフラの老朽化対策は、喫緊の課題であり、今後の道路メンテナンスの必要性を訴えました。

学生からは、橋梁点検時のポイント、打音検査時の音の違いや使用しているコンクリートの強度数値等の質問があり、学習したことが現場でどのように生かされているかを生の工事現場を通してより理解を深めたようです。また、今回のような現場見学会などを経験し、より建設業界への興味を持って頂く良い機会となりました。

【保全対策官(維持・修繕担当)】



橋梁点検方法の説明を受ける学生



完成橋梁補強橋脚の説明をうける学生



足場内で橋梁補強対策箇所を見学

柏崎市総合防災訓練に参加

6月26日(日)に柏崎市の水害対応総合防災訓練が開催されました。

長岡国道事務所では、会場の皆様に地震や水害などの様々な体験をして頂く「災害体験コーナー」に北陸地方整備局所有の「降雨体験車」を出展し、参加しました。

この装置は1時間あたり最大180mmの降雨を設定できるもので、およそ300名の尊い人命を奪った「昭和57年長崎豪雨」や、「平成23年福島・新潟豪雨」などで発生した降雨を再現できるものです。

会場となった柏崎市立枇杷島(びわじま)小学校では、約150名の皆様に近年全国各地で発生している、凄まじい豪雨がどのようなものなのかを体験して頂きました。

最大雨量を体験された方からは「こんな雨が本当に降ったことがある?」という質問があり、併設したパネルで過去の豪雨災害を説明することで、これからの季節に多発する恐れがある、ということを知って頂く良い機会となりました。

【防災情報課】



降雨体験車の展示状況
(地元FM局にも紹介されました)



降雨体験の様様(只今180mmです!)